

## 第 3 回光化学オキシダント植物影響評価検討会における主な指摘事項と対応

	委員からの質疑	事務局からの回答
1	第 3 回検討会資料 2 「光化学オキシダントの大気環境中濃度について」(以降、資料 2) 図 3 (東京都の島しょ部等 (小笠原) における光化学オキシダント濃度の日内変化) について、2013 年の 8 月 9 月が他の年度と比べて高濃度である理由は何か。(青野委員)	ご質問いただいた事象について、環境省において詳細な解析を行った実績はなく、詳細な理由は不明であった。
2	資料 2 の別添の図 2-1-2 によれば、光化学オキシダントの濃度は昭和 51 年から急激に低下しているがなぜか。測定機器の変更等の理由かあるいは社会的な対策による効果か。(黄瀬委員)	
3	第 3 回資料 2 の別添の図 2-1-2 の年平均値について、平成 23 年まで緩やかに上昇した後、平成 23 年で一度が低下し、その後、また緩やかに上昇後安定しているように見えるが、この変動の理由は何か。(伊豆田座長)	
その他、資料の加筆修正事項等		
1	第 3 回検討会資料 3-2 を用いた米倉委員の補足説明の内容、及び検討会における質疑応答を踏まえ、第 3 回検討会資料 3-1 「日本の農作物へのオゾンの影響に係る科学的知見の整理(案)」及び第 2 回検討会資料 4-2 「植物におけるオゾンの影響 (概説)」を修正。(第 4 回検討会資料 1 別添 1、資料 1 別添 2)	
2	個別の研究の実験設備や実験条件、曝露濃度の追記、濃度単位、表現の修正等を行った。	